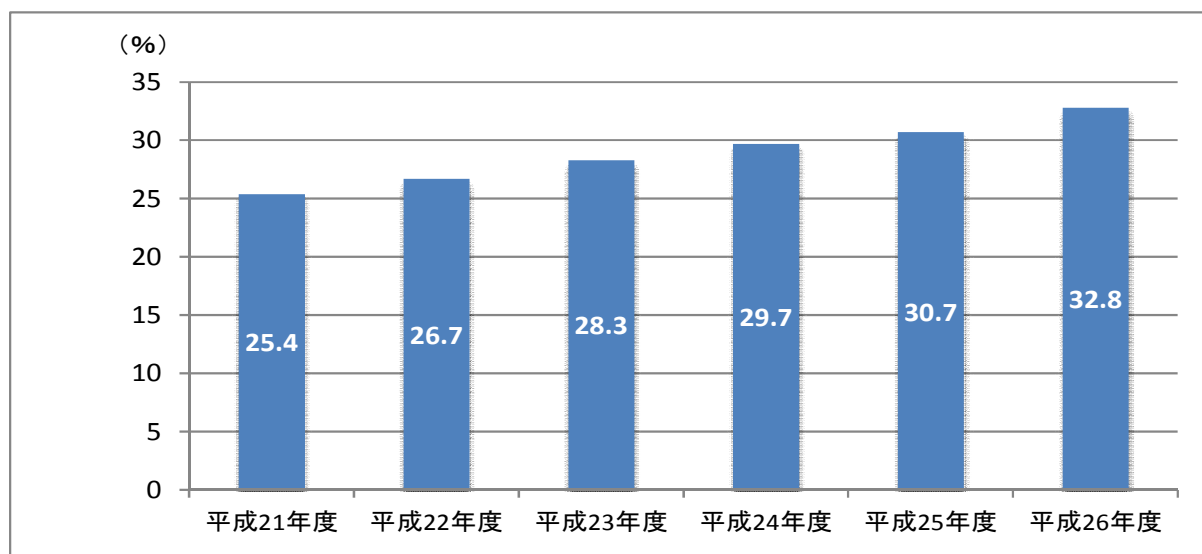


## 2. 入院患者におけるリハビリテーション実施率



入院、発症、術後早期よりリハビリテーションが実施されることで患者の早期離床、機能回復、合併症の予防などの効果は多大であり、その必要性が高く、一般に急性期病院では入院患者の10~20%がリハビリテーションを受けていることで病院の質の向上につながると言われている。当院のリハビリ実施率は26年度には32%を超えてきており、積極的にリハビリテーションが行われていると判断できる。今後は、実施率50%を目指したいと考えている。

データ提供 リハビリテーション部